



とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

Vol.204
令和6年9月号

いちご部会全体会議を開催



8月1日(木)、とちぎ農産物マーケティング協会いちご部会は、JA全農とちぎ生活部会議室において各地域のいちご部会長及びJA担当者・関係機関・団体など27名を参集し、全体会議を開催しました。

全体会議では、令和5年度の活動報告および令和6年度の事業計画を協議しました。

また、役員改選を行い、JAはが野いちご部会「小林 聡氏」が部会長に就任しました。

令和6年度は、「とちあいか」の安定生産技術の確立や店頭抽出調査などに取り組むほか、県内外のホテル等で県産いちごのメニューフェアの開催、SNSを活用したPRを実施するなど、「いちご王国栃木」を一層強固にすべく、関係機関との連携をより密接にした諸活動を展開いたします。



輸出指導者育成セミナーを開催

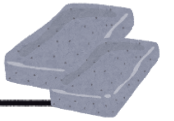
8月5日(月)、栃木県JAビルにおいて、県や市町、農業関係団体等の輸出担当者等を対象として、「輸出指導者育成セミナー」を開催しました。

セミナーでは、県経済流通課から県産物輸出の状況や取組事例の紹介、輸出促進に係る支援事業の案内を行い、当協会輸出促進員から農産物の貿易実務の基礎や最新の海外市場状況、マーケティング協会の輸出支援等について説明を行いました。



※農産物の輸出についてのお問い合わせは、当協会
で随時受け付けています。





令和6年度第1回こんにゃく作況調査を実施

8月9日(金)、当協会は、茂木町・鹿沼市のほ場で、今年第1回目こんにゃく作況調査を行いました。

作況調査は、生育途中～成熟期の計3回(8～10月の各月10日頃)、生育状況および病害の発生状況等を把握するとともに、気象条件との関連性の分析、昨年および平年(過去10年程度)との比較検討を行い、今後の栽培管理に生かす目的で毎年行うものです。

今年は、梅雨明けも早く最高気温が35℃を超える猛暑日が続いたことから、平均気温・日照時間も平年を上回り、これまでのところ、新球形肥大倍率・地上部の生育(葉柄長・葉身長)ともに、平年を上回る結果となりました。

こんにゃくは、日照時間・気温・降水量や風の影響を受けやすい植物であるだけに、今後の気象条件や台風の発生等が気になるところです。



浅羽氏圃場での掘取り



金子氏圃場での掘取り



特産部会こんにゃく専門部の現地検討会を実施



8月21日(水)、当協会特産部会こんにゃく専門部は、鹿沼市で現地検討会を行い、生産者・JA・関係機関等から25名が参加しました。

今年は、建設中の南摩ダム予定地を通り、鹿沼市上久我の大貴幸男氏の3ほ場(1～3年生、いずれも在来種)を視察しました。

3ほ場はいずれも樹に勢いがあり、3年生に至っては地上部が大人の背丈ほどの高さまで成長していました。また、病気につ

いては黄変した葉が1ヶ所のみで、ほとんどみられませんでした。

現地視察後は、JAかみつが南部営繕センター会議室で総合検討を行い、大貴氏から土壌づくりをはじめ、消毒・施肥・防除管理など、1年の作業工程の中で特に配慮している点について説明があり、特に病気を防ぐためには、種芋の選別が重要であることを強調されていました。説明後は、他の生産者からの質疑応答や意見交換等を行いました。

現在は、管理が容易で量産可能な「みやままさり」や「あかぎおおだま」の品種が県内だけでなく全国的にも主流ですが、鹿沼地区では従来からある「在来種」の栽培が増えつつあります。ただし、流通ルートがかなり限定されているため、特定の業者と相対で価格を決め販売している状況となっています。



栃木県球根切花研究会総会の開催

8月29日(木)、当協会花き部会球根切花研究会は、宇都宮市内において令和5年度総会を行い、生産者8名・関係機関等7名が参加し、令和5年度事業報告および令和6年度事業計画等の議案について協議しました。

令和2年から昨年度までは、新型コロナウイルス等を懸念して書面議決で総会を行いましたので、対面で行うのは5年ぶりとなりました。

当研究会の会員は全員がユリを生産しており、宇都宮地区はオリエンタル系、那須烏山地区・鹿沼地区はLA系のユリを主に栽培しています。今年も、JA全農とちぎと連携して栃木県産ユリのPRを市場等で行う予定です。

総会終了後は、生産者・県・JA全農とちぎ等で情報交換会を行いました。



総会の風景



情報交換会

第31回栃木県トルコギキョウ研究会総会の開催

8月30日(金)、当協会花き部会トルコギキョウ研究会は、JA足利営経プラザにおいて第31回総会を行い、生産者14名・関係機関等6名が参加し、令和5年度事業報告および令和6年度事業計画等の議案について協議しました。

トルコギキョウは、近年人気があり、需要も生産量も着実に伸びています。花の人気もさることながら、研究会の活動も盛んで勢いがあり、今年も会員が1名増えました。

総会終了後、昨年度の栃木県花の展覧会で農林水産大臣賞を受賞した中家一郎氏(花仁カンパニー)へ賞状の授与を行いました。また、12年間にわたり会長を務めた本島一喜氏へ当協会より感謝状を贈呈いたしました。



総会の風景



農林水産大臣賞の表彰

とちぎの花でスマイルアップ in NHK (8月分)

8月は、花序(かじょ：花の配列)の美しさが特徴でまるで毛糸の織物のように見えるケイトウ、ピロード光沢のある花卉がつややかで多彩な花色のグロキシニア、2品目の花を紹介しました。

今年の夏は、これまでにない暑い日が続き、台風の発生と日本列島への接近・上陸等で心配な日が続いています。それでも、季節は確実に秋に向かっていきますので、これから秋の花が続々と登場してきます。引続き、様々な場所と場面で、県産花きをお楽しみください。

◇ NHK総合テレビ 毎週金曜日 「とちぎ630」(18:30~)



8/23 ケイトウ 田代 治良氏(高根沢町)



8/30 グロキシニア 服部 英紀氏(真岡市)

令和6年9月の県産花きの紹介は、以下のとおりです。

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 9/6(金) 小菊 | 河内地区 |
| 13(金) 輪菊 | 下都賀地区 |
| 20(金) 高校生(那須拓陽高校)によるフラワーアレンジメント | |
| 27(金) 観賞用かぼちゃ | 安足地区 |



令和6年度とちぎフレッシュメイトPR活動

8月24日(土)、エイジックスタジアム(宇都宮市)にて、J Aエルサポート・J Aかみつがプレゼンツ「栃木ゴールデンブレース」の冠試合が開催され、各球団への農産物プレゼントや、来場者へのノベルティ配布・抽選会の対応をし、たくさんの来場者へPRをしました。



試合結果も栃木ゴールデンブレースの勝利で、会場内の熱気もすごく、盛り上がりを見せていました!



— 新規とちぎの旬彩店 —

店舗名	住所	電話番号/HP	代表者
yoshida no ie	東京都新宿区神楽坂4-2		吉田 征司
Restaurant Re :	東京都目黒区中目黒1-10-23 リバーサイドテラス103		苅田 知昭

◆ ◆ ◆ 9月の予定 ◆ ◆ ◆

- 5日(木) スーパーコーチ派遣事業 (トマト) (県内)
- 6日(金) スーパーコーチ派遣事業 (トマト) (県内)
- 8日(日) クチコミ隊夏野菜農業収穫体験開催 (県南)
- 10日(火) こんにゃく作況調査 (茂木市、鹿沼市)
- 13日(金) スーパーコーチ派遣事業 (トマト、バラ) (県内)
- 18日(水) スーパーコーチ派遣事業 (総合研修) (県内)
- 21日(土) 先客万来「栃木フェア」(参加PR) (豊洲市場)
- 22日(日) とちぎ♡ライフスタイルフェア (参加PR) (マロニエプラザ)
- 26日(木) スーパーコーチ派遣事業 (いちご) (県内)

